

## VII 研究発表業績

## 1 学会等研究発表

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
平成 30 年 5 月 20～24 日	日本地球惑星科学連合 2018 年大会 (千葉)	Land-use and topographic characteristics control nitrate concentration in river water of Lake Kitaura Basin, Japan	菊地技師
6 月 28 日	第 17 回世界湖沼会議開 催記念環境フォーラム (茨城)	「人と湖沼の共生ー持続可能な生態系サービスを目指してー」について	北村主任
7 月 12 日	平成 30 年度全国環境研 協議会関東甲信静支部騒 音振動専門部会 (千葉県)	茨城県における航空機騒音実態調査 について	沼田技師
8 月 23 日	12th International Symposium on Ecohydraulics (東京)	Seasonal Variation and Decomposition of Cyanobacteria ( <i>Microcystis</i> spp.) at Lake Kasumigaura	長濱技師
9 月 4 日～5 日	第 21 回日本水環境学会 シンポジウム (島根)	湖沼の水質変動の要因解析について	松本室長
〃	〃	霞ヶ浦におけるアオコ予測システム の利用	長濱技師
9 月 14 日	第 59 回大気環境学会年 会 (福岡県)	茨城県における PM2.5 の季節および 地域特性について	北見主任
10 月 15～19 日	第 17 回世界湖沼会議 (茨 城)	霞ヶ浦の生態系サービスとその経済 評価	江幡副セン ター長
〃	〃	汽水湖湖沼における水質の周期変動 について	松本室長
〃	〃	牛久沼における水質等調査結果につ いて	富永 主任研究員
〃	〃	霞ヶ浦の生態系サービスの経済評価 と評価手法の課題	北村主任
〃	〃	気候変動による霞ヶ浦水質への影響 について	小室主任
〃	〃	基盤整備後ハス田地帯からの流出量 調査について	飯尾技師
〃	〃	霞ヶ浦外浪逆浦の浚渫窪地での水温 成層形成とそれによる水質への影響	中川技師

Ⅶ 研究発表業績

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
〃	〃	巴川・鉢田川流域における地下水の硝酸態窒素による汚染状況及びその要因	菊地技師
〃	〃	霞ヶ浦土浦入を対象に構築したアオコ予測システムの紹介	長濱技師
〃	〃	湖水直接浄化施設の稼働による土浦港水質浄化効果について	志村 流動研究員
10月26日	全国環境研協議会関東甲信静支部水質専門部会	霞ヶ浦の生態系サービスに関する意識調査について	北村主任
11月2日	日本水処理生物学会第55回大会(福島)	霞ヶ浦におけるアオコの発生状況とアオコ発生予測への挑戦	長濱技師
11月15～16日	第45回環境保全・公害防止研究発表会(島根)	北浦南部における全りんの高濃度要因	中川技師
11月20日	NARO-MARCO国際シンポジウム	A study of runoff loads from lotus paddy fields after improvement of agricultural infrastructure	飯尾技師
11月22日	平成30年度全国環境研協議会関東甲信静支部大気専門部会(神奈川県)	茨城県における有害大気汚染物質の状況	中村主任
11月29日	第21回自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC21)	霞ヶ浦の生態系サービスの経済評価について	北村主任
平成31年 3月2日	霞ヶ浦流域研究2019(茨城)	気候変動による霞ヶ浦水質への影響解析について	小室主任
3月7～9日	第53回日本水環境学会年会(山梨)	汽水湖澗沼の長期水質変動について(第2報)	松本室長
〃	〃	選択型実験による生態系サービスの経済価値の検討	北村主任
〃	〃	北浦における貧酸素水塊と水質の変動について	小室主任
〃	〃	通年湛水ハス田における年間の水質変動調査について	飯尾技師
〃	〃	近年の澗沼における動物プランクトンの変動	中川技師
〃	〃	安定同位体比及び土地利用データに基づく北浦北部流域における面源系窒素排出負荷原単位の推定	菊池技師

年月日	学会等の名称 (開催地)	演 題	発表者
〃	〃	霞ヶ浦における植物プランクトン群集の変遷と地域差	長濱技師

## 2 誌上発表

題 名	執 筆 者	掲 載 誌
第17回世界湖沼会議の「湖沼セッション」と「霞ヶ浦セッション」	福島武彦	地理, 63-10, 76-80, 2018.
第17回世界湖沼会議と生態系サービス	福島武彦	用水と廃水, 60, 601(巻頭言), 2018.
Factors explaining the yearly changes in minimum bottom dissolved oxygen concentrations in Lake Biwa, a warm monomictic lake ※	T. Fukushima, T. Inomata, E. Komatsu and B. Matsushita	Scientific Reports, 9:298, 2019
Suppression of nutrient release from freshwater lake sediments using granulated coal ash ※	T. Fukushima, M. Okabe, T. Hibino, N. Touch and K. Nakamoto	Water Science and Technology: Water Supply, 18-5, 1810-1824, 2018
霞ヶ浦底泥における脱窒速度の水平・垂直分布と窒素除去量の推計 ※	北村立実, 渡邊圭司, 吉尾卓宏, 戸田任重, 内海真生, 黒田久雄	水環境学会誌 41(6), 213-221 (2018)
東日本大震災による汽水湖沼の塩分変化とその影響 ※	大内孝雄, 吉田繁樹, 相崎守弘	水環境学会誌 41(3), 55-59 (2018)
Water quality and transparency characteristics during the Planktothrix abundance period in shallow Lake Kasumigaura, Japan ※	T. Ouchi, H. Kobinata, K. Kamiya, K. Nakagawa, K. Sugaya and M. Aizaki	Lakes and Reservoirs 23, 163-167 (2018)
ハス田群からの水質汚濁物質流出負荷量に対する基盤整備の影響 ※	飯尾恒, 吉田繁樹, 北村立実, 松本俊一, 黒田久雄	水環境学会誌, 42(4), (2019)

※: 査読付き論文